



新型コロナウイルス感染症は、予断を許さない状況が続いています。子どもたちの健康・安全の確保から、改めて以下の内容をご確認の上、ご理解とご協力をお願いいたします。

1 児童の健康管理等の対応について

(1) 家庭での毎朝の検温及び風邪症状の確認と学校との連携

- 毎朝、家庭で検温と風邪症状の確認と、「朝の健康チェック表」の記入、担任への提出。

(2) 発熱や風邪の症状が見られる場合、自宅で休養することの徹底

- この場合の出欠の扱いは「欠席」とはせず、「出席停止」。
- 学校で発熱や風邪の症状が確認された場合、早退として対応。

※ 早退の連絡があった場合、早急のお迎えを。

(3) 手洗いや咳エチケットの徹底 ★ マスクを必ず着用。

(4) 免疫力を高めるため十分な睡眠、適度な運動やバランスのとれた食事。

(5) 感染者や感染の疑いのある本人や家族に対する偏見や差別につながるような行為への指導。

2 集団感染のリスクへの対応について ★「3つの条件が同時に重なる場」を避けること。

(1) 換気の悪い密閉空間にしないための換気の徹底（教室等のこまめな換気）。

(2) 多くの人が手に届く距離に集まらないための配慮。

(3) 近距離での会話や大声での発声をできるだけ控えること。



第1回学校運営協議会 ～各プロジェクトの今年度の取組～

確かな学びづくりプロジェクト

- 学習支援ボランティアの活動内容を増やす。
→ これまでの活動を見直し、必要なものを継続しながら新たにできそうな活動についてボランティアを募る。
- 地域や保護者の方に来校していただく機会を増やすために、積極的に情報発信する。
→ 学年に限らず広く周知する。事前に関わり方を示す。学習支援ボランティアとしてできそうなことに新たに取組む。

豊かな心づくりプロジェクト

- 一人一鉢コンクールで、児童の花づくりへの積極的な参加を促す。
- 地域、保護者と共に花壇経営を行う。
- 縦割り班遊びや、縦割り掃除の反省会のもち方を工夫する。
- 挨拶の取組について評価する。

健康・安全づくりプロジェクト

- 水泳学習が実施できれば、水泳指導・監視員を地域の方にもお願いする。
- 「スポーツ王は誰だ」の実施にあたり、地域の方に手伝いをお願いする。
→ 「みいネット」などを通じて、積極的に行事の呼びかけやお知らせをする。

